

## ほのぼの新聞〈2020年9月号〉

作成：田中 聡

第271回7月例会：2020令和2年7月11日(土)17:00～20:00

場所：中区地域福祉センター5階・研修室、参加者：14名

司会：江崎 洋、開会挨拶：渡辺 学文、閉会挨拶：田中 加代子



①『ほのぼのバリアフリー絵画教室』の報告：赤崎 帯子

本日の昼間に、障害者1名を含む4名で開催しました。

②『ええじゃん・転ばぬ先の杖 展示会』の報告：栗林 克行

6月17日(水)～21日(日)の5日間、廿日市・市役所併設の『はつかいち美術ギャラリー』で、長期に亘る『ええじゃん講習会』のエキスを展示の形でまとめて展示会にしました。当会からも多数の方々が見に来てくださり大盛会でした。このような講演会や展示会等で、一人でも多くの方々が災害からご自分や周りの方々の身を守る方法を学んで戴き、実際に命を守って戴いて、成果に結びつく事を祈っています。

③『ほのぼのバリアフリー 納涼例会』の構想：赤木 加奈

8月8日(土)17:30～『和み』で開催しますが、今回は例年と違って、新型コロナウイルス対策を厳重に施します。いつものプレゼント交換会は商品の消毒が難しいことから、やむを得ず中止します。室内は既に透明ビニールだらけで可能な限りの飛散防止対策は講じています。酒類や食材の持ち込みは大歓迎ですが、包装された状態または何らかのケースに入れて持ち込んでください。入口付近で包装やケースを消毒させて戴きます。その他の感染防止対策は、やれるだけことは全て実施します。ですから、安心してご参加ください。但し、2週間以内に県外を出入りした人やご自身の体調が勝れない人等は、申し訳ありませんが今回はご辞退ください。

④『ワールドフェスタ』の案内：赤崎 帯子

9月20日(日)14:00～東区民文化センター大ホールで開催します。今回は約500名入場のところを250名に減らしての開催になります。入場料は700円です。

⑤『ほのぼのファーム世羅』の構想：渡辺 学文

広大な、野原、池、丘、家屋、が空いています。なんとか当会のボランティアに使ってもらいたいと考えていますが、まだ決まっていません。有志が集まって見学会をやりたいと考えています。良い知恵が出るかも知れません。

⑥ インドボランティアの報告：酒井 信雄

約2か月間インドに居ましたが、今回はインド国内も新型コロナウイルス蔓延の為に身動きが取れず、チェンナイと言う都市の養護施設に缶詰になりました。ボランティア活動はほとんどできませんでしたが、お陰で子供たちや関係者とすっかり仲良しになりました。広大な敷地の施設でしたので蚊に悩まされのが残念でしたが、充実したひと時を過ごせました。ところが日本に帰ってからが大変でした。国外からの帰国者は公共交通機関の利用が禁止され当時はホテルも取れず困り果てました。この窮地を友達に電話で話したところ、自家用車で広島まで送ってもらえ、本来は人の為に行動する予定でしたが、逆に人のお世話になってばかりで『恩送り』を強く感じました。

⑦ 以下の活動が新型コロナ対策の為に中止になりました。

フラワーフェスティバル・ボランティア、車いすツアー、潮干狩り、中区ボランティア祭り、誕生日会、(野球観戦は不明)

★ 以下の活動は継続していますのでご協力ください。

アルミ空き缶収集活動：例会に持ち込んでください。近くですから運びます。：赤崎 帯子

おたすけ隊：次回の例会で構想を発表します。：竹原 茜

盲導犬寄贈活動：コカ・コーラの自動販売機で宣伝を兼ねて募金活動を開始します。：赤崎 帯子

ペットボトル蓋収集：例会に持ってきてください。：江崎 洋

⑧ 次回9月12日(土)の、司会進行：松成 和美さん、開会挨拶：最初に来た人、閉会挨拶：兼政 房子さん